平成28年度 指定管理者モニタリングレポート
(指定管理者の管理運営業務評価結果)

施設名	安中新田会所跡旧植田家住宅
所在地	八尾市植松町一丁目20番2
所管課	教育総務部文化財課

指定管理者	名称 NPO法人 HICALI 代表者 理事長 澤田知英子 住所 八尾市明美町一丁目2番3号-406
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日 (5年間)

1. 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上

○利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか	評価結果
<p>大和川付替えや植田家に関連した企画や展示など、施設の設置目的に沿った事業のほか、子どもたちから大人まで楽しめる事業を企画・実施するなどサービスの向上を図り、職員の対応も親切・丁寧な対応をしている。</p> <p>【利用者アンケート（利用者の満足度等）】</p> <p>①調査の概要（調査対象、調査時期、調査方法、回答状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象：施設利用者 ・調査時期：平成28年9月24日～平成28年11月21日 ・調査方法：施設内でアンケート用紙を配布し回答を得る ・回答状況：アンケート用紙230枚を配布、230枚を回収（回収率100.0%） <p>②アンケート結果の概要（利用者の満足度等）</p> <p>受付の対応については99.0%が満足、施設の清掃については98.0%が満足、展示については94.0%という結果で施設利用者の満足度は高く好印象であった。</p>	A

2. 公の施設の効用発揮

○公の施設の効用を最大限に発揮されたか	評価結果
<p>施地域住民とともに施設の管理運営について話し合うなど、市民参加・協働による取り組みやまちづくり協議会をはじめとする地域との交流を深めるとともに、HPの更新を積極的に行い、利用者拡大に努めている。</p> <p>施設内部で緊急時の対応策について定期的に話し合いを行い、また、災害等発生時、市からの要請に対応するための体制を整えている。</p>	A

3. 適切な維持管理及び管理経費の縮減

○公の施設の適切な維持及び管理が図られるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られたか	評価結果
<p>施設管理、設備の保守点検等適正に行われている。特に清掃は、外部委託のほか、職員らも実施しトイレの清掃や植栽の手入れを定期的に行うなど、適正な維持管理に努めている。</p>	S

4. 団体の人員、資産その他の経営規模及び能力

○公の施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか	評価結果
<p>適正な予算執行及び適切な人員配置によって良好なサービスが提供するなど、団体の経営状況に問題はなく、適切な労働環境が保持されている。</p> <p>職員の資質や能力向上を図るため外部研修に参加し、研修参加者は、施設内部でフィードバックし、職員間で内容を共有している。</p>	A

5. その他施設の性質または目的に応じた基準

○その他市長が公の施設の性質又は目的に応じて別に定める基準を満たしたか	評価結果
<p>旧大和川の付替えや会所を継承した植田家に関連する資料の展示を通じて郷土の歴史と文化を普及啓発するという設置目的について理解し、適切に管理運営を行っている。</p> <p>様々な世代のニーズに対応するための事業を展開し、利用者拡大に努めている。</p>	S

【総合評価】

	評価の視点	得点率(評価)(a)	評価配点(b)	評価点(a×b)
1	利用者の平等利用の確保及びサービスの向上	87.5% (A)	33.3	29.2
2	公の施設の効用発揮	89.5% (A)	16.7	14.9
3	適切な維持管理及び管理経費の縮減	94.7% (S)	20.8	19.7
4	団体の人員、資産その他の経営規模及び能力	84.6% (A)	16.7	14.1
5	その他施設の性質または目的に応じた基準	95% (S)	12.5	11.9
合計			100	89.8

※得点率・評価配点・評価点については、原則として、小数点第2位を四捨五入しているため、端数の関係上、評価配点の合計及び評価点の算定結果等が表上の計算と整合しない場合がある。

総合評価	A
------	---

【モニタリング内容の総括】

施設の管理運営は適正に行われている。提案事業・自主事業とも積極的に実施しており、利用者の評価も良好でサービス水準は確保されている。

事務処理関係や個人情報の取り扱いに関する研修の受講が望まれる。

<参考>

■ 評価基準表(得点率で判断)

S (90%以上)	業務推進に必要とする水準を満たすだけでなく、より高い水準での施設の管理運営が行われ、積極的な創意工夫や改善活動を主体的に行っている
A (80%以上 90%未満)	業務推進に必要とする水準を満たしていると判断できる
B (60%以上 80%未満)	業務推進に必要とする水準を十分に満たしていないと思われる
C (60%未満)	業務推進が不十分で、今後支障をきたす可能性があり、改善の検討が必要と思われる

■「総合評価」の評価基準

評価の視点ごとの得点率及び評価配点をもとに評価点を算出し、上記の評価基準表により評価を行う。

ただし、総合評価がSまたはAとなるためには、評価基準表に定める得点率の基準（S：90%以上、A：80%以上）を満たした上で、以下の要件も満たす必要がある。

総合評価がSとなる要件

5つの評価の視点の評価において、Sが3つ以上であること。

総合評価がAとなる要件

5つの評価の視点の評価において、SまたはAが3つ以上であり、かつ、Cがないこと。